

1. 本園の基本理念、教育・保育方針、教育・保育目標

基本理念 ○子ども主体の保育 ○みんなでみんなを見る保育 教育・保育方針 ○あたたかい保育 ○のびのびと楽しい保育 ○一人ひとりを大切にする保育 教育・保育目標 ○心身ともに豊かな子ども ○思いやりのある子ども ○意欲のある子ども ○自分で考えて行動する子ども

2. 本園の重点的に取り組む目標・計画

幼保連携型認定こども園教育・保育要領及び園の全体的な計画を踏まえて、教職員がその内容を確認しながら共通理解を図り、認定こども園全体の教育・保育を高めるとともに、教職員の資質向上に努める。 時代に即した保育（子どもを主体とした保育）に応える質の高い認定こども園を図る為に、カリキュラムや行事などを見直し、改革を進める。 保護者の利便性向上、職員の業務負担軽減を図るために一層の業務の見直し、ITの活用を進める。
--

3. 評価項目と取り組み状況（職員による評価の平均値を掲載）

A:十分達成されている

B:達成されている

C:取り組まれているが、成果が不十分

D:取り組みが不十分

	具体的確認項目	評価	取組状況・今後の取組等
保育目標・教育方針			
	幼保連携型として乳児（0～2歳）の育ちから幼児（3～5歳）の教育まで一貫した教育目標や方針が作られているか。	B	基本理念が変わって3年目。少しずつ保護者や職員に浸透してきている。 これからも、「子どもにとってどうか」の点での保育に努めていく。
	目標や方針を共有するための取組が行われているか。	B	昨年度に比べたら全体の共有もできつつある。 ルクミーで各活動を見ることが出来るので、学年をこえて取組みを交換出来たようにしていく。
教育課程・指導計画			
	学年ごとの成長を踏まえた保育カリキュラムが作られているか。	B	学年によって大切にしたい事、成長してほしいところを踏まえて、子どもとの話し合いややりたいことも入れて作られている
	保育カリキュラムの評価・反省を行い、日々の実践に活かし取り組んでいるか。	B	やり方に迷いもあるところもあるが、どうしたらいいか日々考えながら実践している。また、クラス間で日々の様子を話し合い、反省を活かして日々の実践に取り組んでいる。

環境整備			
	多様な活動内容や形態に応じた教材、教具がそろえられているか。	B	教材、教具は必要であれば購入できる環境である。 活動内容や成長に合った教材か、必要なものか、見極めるのが難しいことがある。
保育・教育の充実			
	一人ひとりの乳児・幼児をよく観察し子どもの気持ちを受け入れ、保護者との信頼関係を構築し、興味や能力に応じて活動することにより、成長に応じた関わりがなされているか。	B	保護者とできるだけたくさんコミュニケーションをとり信頼関係を築けるように心がけたが、保護者の理解を得ることが難しい時もあった。子どもにとって何がいいかを一番に考えて保育していることをどのようにして伝えていくかが課題である。 子どもの関わりは、子ども一人ひとりの気持ちを十分に受け止め、声掛けしたり見守り関わることができた。
	子どもが主体的に楽しめるような関わりや環境を用意しているか。	B	子どもがあそびたくなる環境づくりを行い子どもが主体的に楽しめるように心がけた。子どもが主体的になり楽しめるようになってきている。
	身体を動かす機会を十分に確保し、身体を動かす楽しさを味わえるようにしているか。	A	散歩やリズムあそび、アスレチックなど身体を動かす活動をしっかり取り入れるよう日々の保育の中で配慮している。
	栽培活動など食育活動を推進しているか。	A	今年度は、農のアドバイザーの指導のもと、野菜づくりに力をいれ、子どもたちと共に楽しく野菜を育て、収穫してクッキングを楽しめた。
	配慮が必要な子どもに対して、職員間で共通理解を図り適切に対応しているか。	B	些細なことでも伝え合い職員間で共通理解を図るようにし、どのように関わったらいいのかを話し合い対応している。
職員の資質・能力向上			
	職員の資質や能力向上のための取組が十分に行われているか。 後輩の育成に努めているか。	B	毎月、園内研修を行ったが、研修のやり方や内容について考え直す必要がある。後輩の育成については、気づいたときに指導を行っている。
	子どもの育ちと人権を第一に考え保育にあたっているか。	B	子どもの育ちと人権を第一に思っているが、第三者的な目で見るとは言い難いこともあったので、その都度声をかけ改善に努めてきた。これからも職員全員が子どもの人権に意識を高く持ち保育していくように努めてく。
	職務上知りえた個人情報を適正に取り扱っているか。	A	全職員、個人情報を適正に取り扱うよう指導している。 (書類等は園で作成し、外には持ち出さない等)
	自分の感情を把握し、受け止めた上で冷静にコミュニケーションしているか。	B	感情に左右されず、適切なコミュニケーションができるよう心掛けている。

安全管理体制の設備		
避難訓練・交通安全指導等の実施、感染予防の家庭への啓発、アレルギー児への適切な対応が出来ているか。	B	引き続き行っていくが、避難訓練については、いろいろなパターンを想定して行っていく。
安全点検（園内、保育室、遊具、ヒヤリハット）を実施し、会議を通して結果や改善点を共有しているか。	B	昼礼でヒヤリハット等の報告を行っているが、伝達不足があったり、改善点の共有が難しかった。今年度の反省を踏まえ、しっかり職員全員に共有していく。
子育て支援		
様々な機会を通して子どもの様子や出来事を伝え合い保護者との相互理解をはかっているか。	B	保護者に子どもの様子や出来事を伝えている。保護者との相互理解が難しい時があったが、これからも子どもの様子等はしっかり伝えていく。
地域の子育て支援として、園庭開放など子育て支援活動を行っているか。	A	引き続き行っていく。
保護者・地域との連携		
園の教育・保育方針について、保護者にわかりやすく伝えているか。	B	子どもの成長と合わせて伝えてきたが、まだ、浸透していない。過程を伝えることは大切で、その方法は、来年度もっと意識して考えていく必要がある。
園の教育・保育方針や園の情報をおたよりやホームページ等で地域に発信しているか。	B	ルクミーでクラスの発信はできている。ホームページで地域の方への発信はできていなかった。地域への発信の仕方を検討していく必要がある。
運営管理		
職員間の協力の声掛けや意見や提案を言うことができるか。	B	学年での協力、声掛けは十分できた。全職員間で意見や提案が言えるような環境を作っていく。
職員の業務負担軽減を図るために、ITの活用を進めているか。	A	ITの活用を進めているが、まだ、業務負担軽減は図れていない。検討していく必要がある。
仕事の係分担やチーム体制が適切に機能しているか。園の明確な運営・責任体制ができているか。	B	係分担はしていないが、お互いに声を掛け合って仕事が出来ている。
IT導入することで、保護者の利便性が向上しているか。	B	IT導入の一つで、ルクミー導入に保護者、職員も慣れ利便性が向上している。
情報提供		
保護者や関係者に対して十分かつ効果的な情報提供をおこなっているか。	B	これからも、効果的な情報提供の仕方を検討していく。

4. 今後取り組む課題について

基本理念の「子ども主体の保育」については、少しずつ保護者の方に理解していただいているように感じる。また、「みんなでみんなを見る保育」では、昨年度に比べて職員の意識が向上し出来てきている。これからも当園の保育の良さを理解してもらうためにどのように発信していくかを検討し、しっかりPRしていく事が課題である。

職員の事務負担の軽減する方法について検討していく。